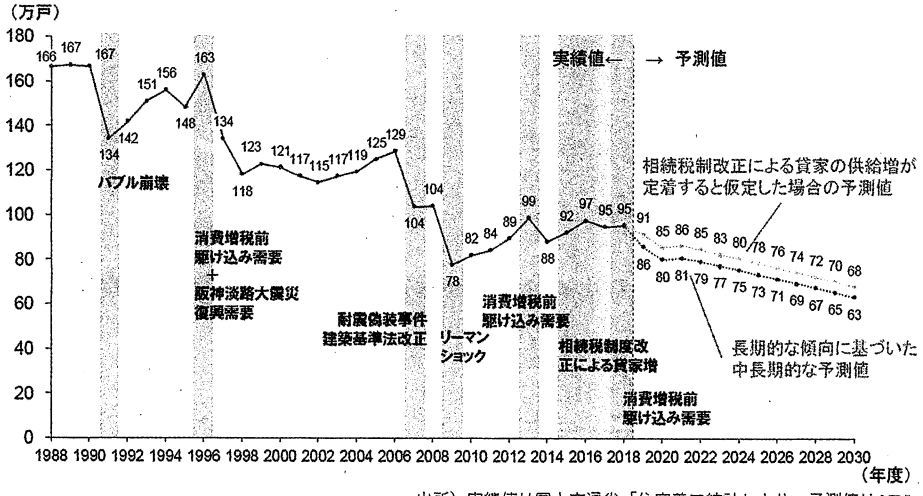
野村総研

国内の2019年度～30年度新設住宅着工戸数ならびにリフォーム市場規模予測

新設住宅着工戸数 18年度95万戸から30年度63万戸に

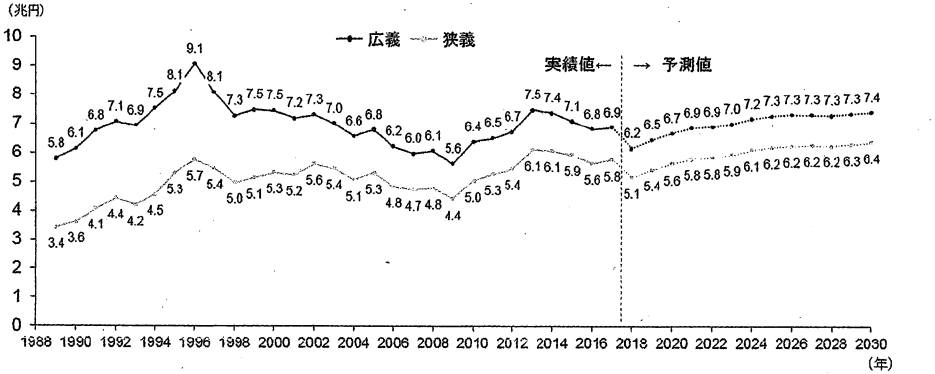
広義のリフォーム市場規模 30年まで横ばいで推移

新設住宅着工戸数の実績と予測結果（全体）



出所）実績値は国土交通省「住宅着工統計」より。予測値はNRI。

リフォーム市場規模（広義・狭義）の実績と予測結果



出所）実績は住宅リフォーム・紛争処理支援センター「住宅リフォームの市場規模（2017年版）」より。予測値はNRI。

野村総合研究所はこのほど、国内における2019年度～30年度の新設住宅着工戸数ならびに19年～30年のリフォーム市場規模を予測した。

■2019年度～30年度の新設住宅着工戸数

新設住宅着工戸数は、2018年度の95万戸から30年度には持ち家が20万戸、分譲住宅が16万戸、貸家（給与住宅を含む）が27万戸になると見込んでいる。貸家に関しては、相続税制改正による貸家の供給増加が定着したと仮定した場合、年間5万戸程度の供給増加が見込まれる。

利用関係別に見ると、2019年～30年度の95万戸から30年度には63万戸と減少すると見込んでいる。相続税制改正による貸家の供給増加が定着したと仮定した場合、5万戸程度の供給増加が見込まれる。

■2019年～30年のリフォーム市場規模

広義のリフォーム市場は、2030年まで年間6～7兆円規模で横ばいに推移すると予測される。

狭義の市場は、それより1兆円前後少ない規模と見込まれる。

※広義と狭義のリフォーム市場規模の定義（住宅リフォーム・紛争処理支援センター）

狭義のリフォーム市場規模は、住宅着工統計上新設住宅に計上される増築・改築工事および設備等の修繕維持費を指す。

広義のリフォーム市場規模は、狭義のリフォーム市場規模にエアコンや家具等のリフォームに関連する耐久消費財、インテリア商品等の購入費を含めた金額を加えたものとなる。